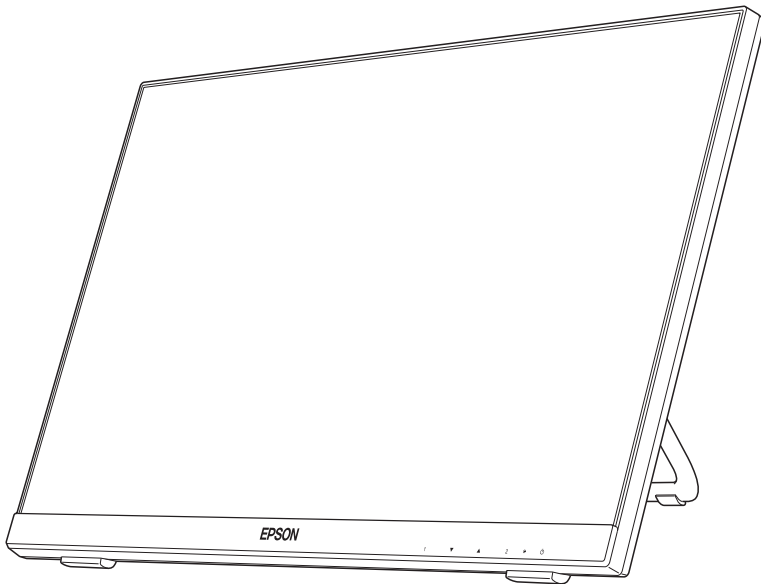


21.5型ワイドタッチパネル液晶ディスプレイ

取扱説明書



LT22W81L



ご使用前に

- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。
- 本書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。


安全にお使いいただくために

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。




その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を必ず接地（アース）して使用することを示しています。

警告

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、感電・火災の原因となります。



- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。

発熱し、火災の原因となります。

家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。



本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、本機の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

破損した電源コードを使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。



- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードを束ねた状態で使用しない。

電源コードが破損したら、修理受付窓口にご相談ください。

修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告



水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



本機の分解や改造はしないでください。

けが・感電・火災の原因となります。



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。

また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。

接地しないで使用すると感電の危険があります。

アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。

また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。

火災の原因となります。



アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

⚠ 注意



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
次の点を守ってください。

- ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に設置しない。
- ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の原因となります。



交流 100V 以外の電源は使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。
感電の原因となります。



液晶ディスプレイが破損して内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。
火傷や化学物質による被害の原因となります。
万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は、流水で十分に洗い、医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



表面のガラスが破損した場合は、破損した部分を触らないでください。けがをするおそれがあります。



目次

安全にお使いいただくために	2
本書中の表記	7
梱包品を確認する.....	8
各部の名称と働き.....	9
本機前面.....	9
本機背面.....	10
コンピューターと接続する	11
画面の角度を調整する.....	17
セキュリティーロックスロットを利用する.....	17
電源の入れ方 / 切り方.....	18
使用時の確認事項.....	20
液晶パネルについて.....	20
省電力機能について.....	20
表示する.....	21
自動画面調整（アナログ接続時）.....	21
ブルーライト調整機能を使用する	22
複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する ...	22
エコモードを使用する.....	22
音声を出力する.....	23
タッチパネルを使う.....	24
タッチパネル使用上の注意.....	24
タッチパネルの操作方法.....	24
OSD メニューで調整する.....	26
OSD メニューの起動と操作.....	26
メニュー画面の詳細.....	28
お手入れ.....	37
困ったときは	38
修理を依頼する前に.....	39
機能仕様一覧	40
プリセットタイミング（アナログ接続時）.....	41

本書中の表記





安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別紙を示します。
	マニュアルの名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』

梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に担当窓口までご連絡ください。詳しくは、**別紙** 『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



参考

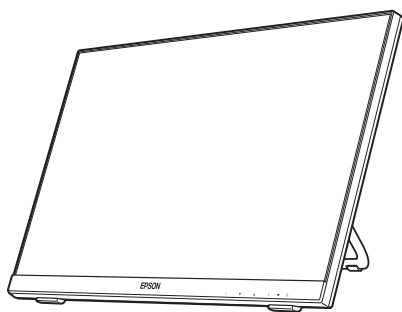
保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

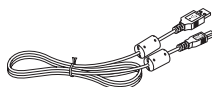
1

ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。



ディスプレイ



USB ケーブル



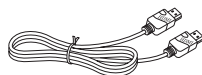
オーディオ
ケーブル



VGA ケーブル



DVI-D ケーブル



HDMI ケーブル



電源コード

2


マニュアルを確認する

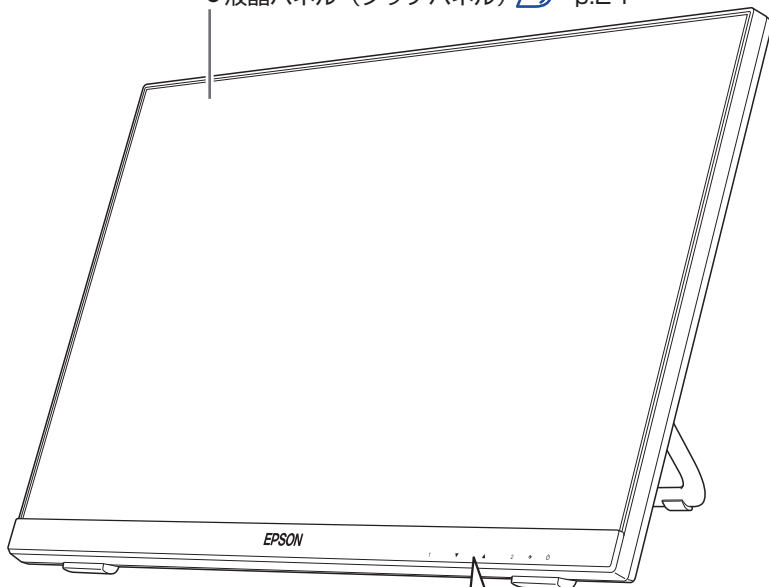
マニュアル類がそろっているか、確認してください。

- 取扱説明書（本書）
- サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）

各部の名称と働き

本機前面

- 液晶パネル（タッチパネル）  p.24



- 1 ボタン  p.23、26

- ▼ ボタン / ▲ ボタン  p.23、26


- 2 ボタン  p.22、26

- 電源表示ランプ

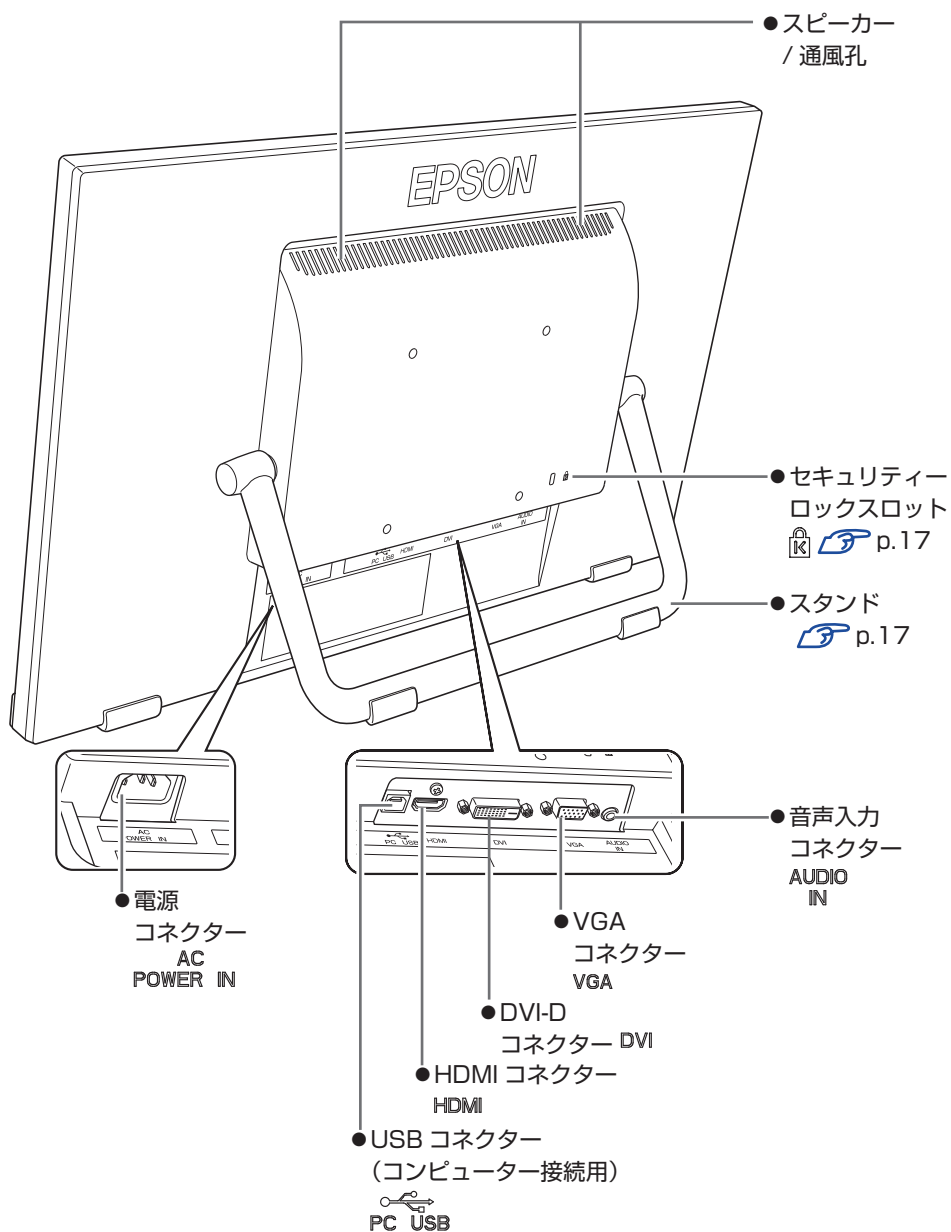
- 電源スイッチ   p.18

ランプ表示	本機の状態
緑色点灯 *	通常動作
オレンジ色点灯	スタンバイ
消灯	電源切断時

* 「LED OFF」 に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。

 p.36 「設定メニューサブメニュー」

本機背面



コンピューターと接続する

本機を設置し、コンピューターと接続して、使用できる状態にする手順を説明します。

接続するコンピューターのマニュアルも合わせてご覧ください。

コンピューターに拡張ビデオボードやサウンドボードを装着している場合は、各ボードのマニュアルもご覧ください。

設置における注意



- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。次の点を守ってください。
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
 - ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



- 本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- むれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



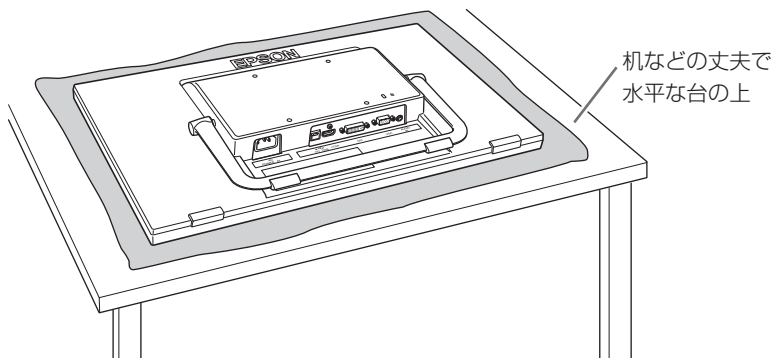
各種コード（ケーブル）は、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。

接続は、本機およびコンピューターの電源を切った状態で行ってください。

1 設置場所（机などの丈夫で水平な台の上）を確保します。

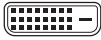
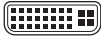


2 背面を上にして置きます。

液晶画面を傷つけないよう、台の上に薄い布などを敷いておいてください。




3 コンピューターの出力コネクタ*を確認し、接続に使用するケーブルを選択します。

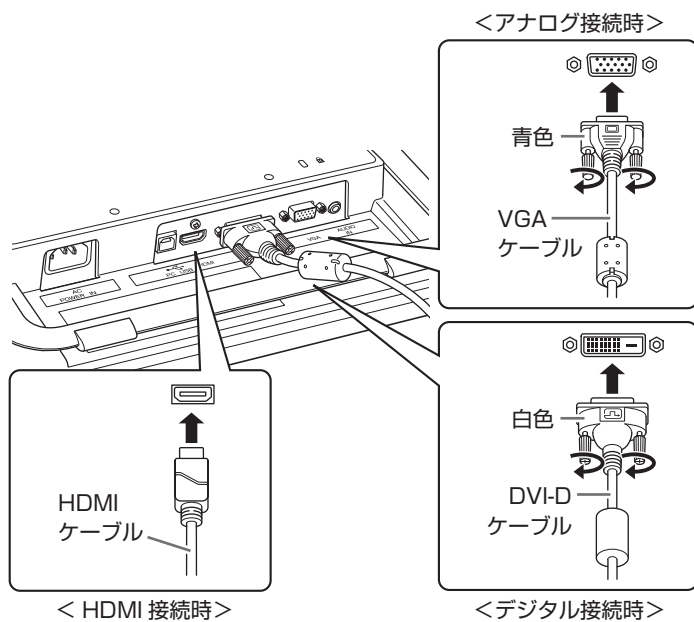
* ビデオボードをお使いの場合は、ビデオボードの出力コネクタ

コンピューターの出力コネクタ	接続方法	使用ケーブル
 < DVI-D コネクタ >	デジタル接続	DVI-D ケーブル
 < DVI-I コネクタ >		
 < HDMI コネクタ >	HDMI 接続 (デジタル画像 + サウンド)	HDMI ケーブル
 < VGA コネクタ >	アナログ接続	VGA ケーブル

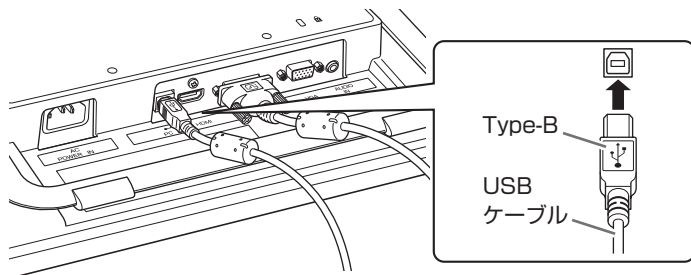
- デジタル接続の方がアナログ接続よりも鮮明な画像を表示できます。
- 電源連動機能を使用する場合は、HDMI 接続してください。

 p.19 「電源連動機能 (HDMI 接続時)」

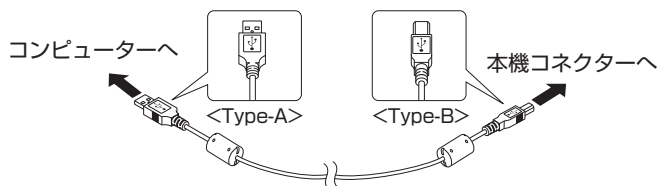
- 4** 選択したケーブル（1本）で本機とコンピューターを接続します。
ケーブルのプラグをコネクタに差し込みます。DVI-DケーブルやVGAケーブルの場合は、プラグ両側のネジを締めて、しっかり固定します。



- 5** タッチ操作で使用するために、USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。



USB ケーブルとコネクターの形状を確認して接続してください。



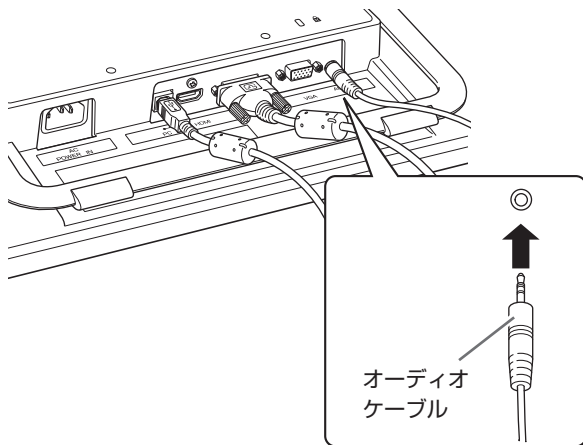
複数台のディスプレイを接続して使用する場合は、本機をタッチディスプレイとして使用するための設定が必要です。
設定方法は、次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?032792>

6 本機のスピーカーを使用する場合は、オーディオケーブルで本機とコンピューターを接続します。

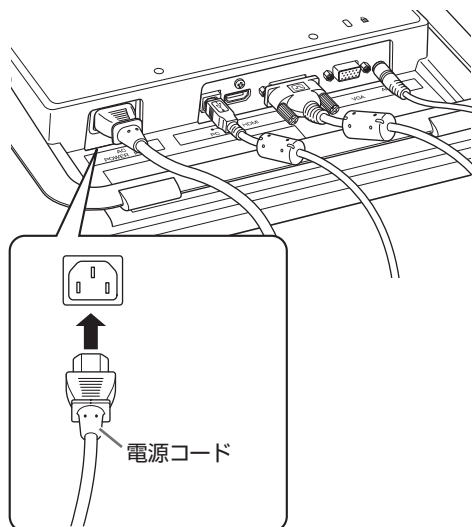
オーディオケーブルで、本機の音声入力コネクター（**AUDIO IN**）とコンピューターのライン出力コネクター*を接続します。

* サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクター



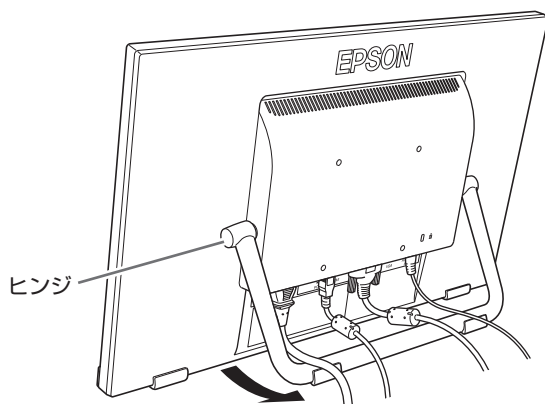
※ HDMI ケーブルでコンピューターと接続した場合は、この作業は必要ありません。

7 同梱の電源コードを、本機の電源コネクター（**AC POWER IN**）に接続します。



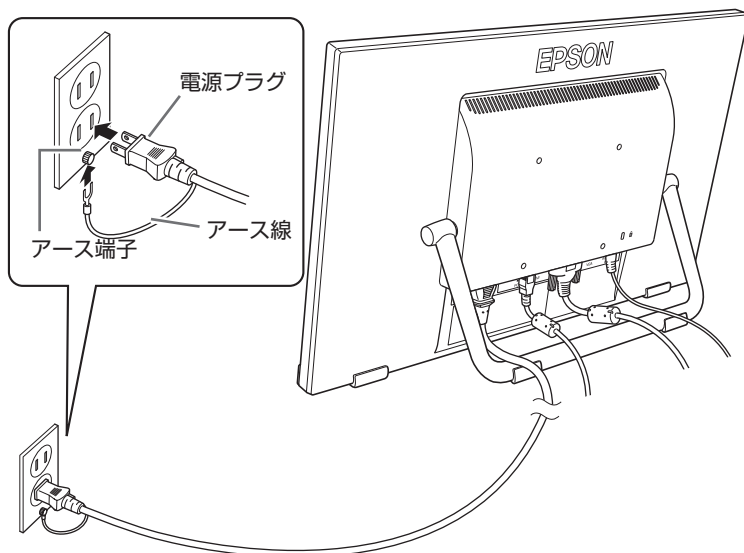
8 スタンドを広げながら、本体を起こして設置します。

スタンドを動かすときは、ヒンジ部に手をはさまないように注意してください。



9 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。

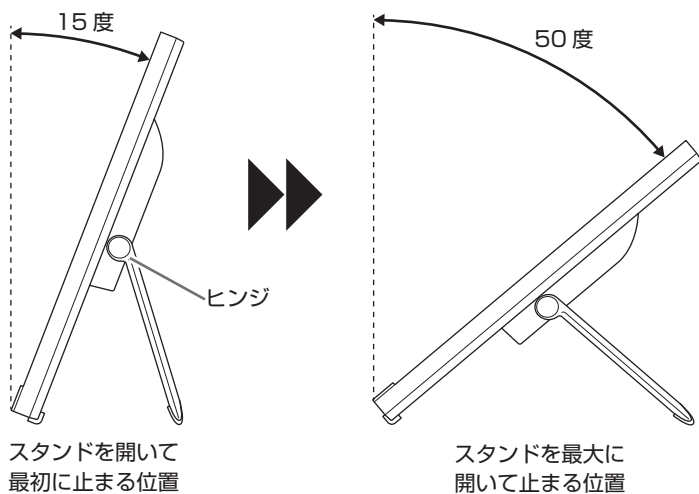


これでコンピューターとの接続は完了です。

画面の角度を調整する

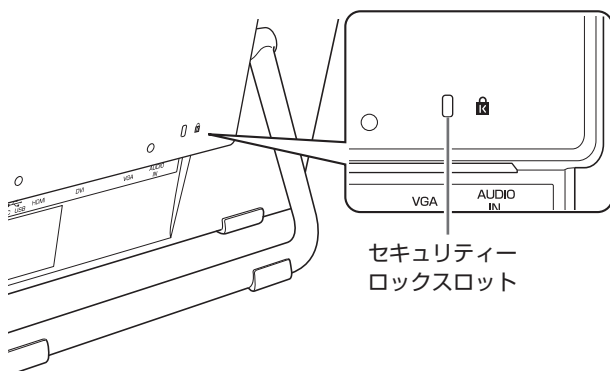
スタンドを動かして、角度を調節してください。画面の角度は 15 度～ 50 度に調整可能です。

スタンドを動かすときは、ヒンジ部に手をはさまないように注意してください。



セキュリティーロックスロットを利用する

本機背面の「セキュリティーロックスロット」には、市販の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り付けることができます。



電源の入れ方 / 切り方

本機の電源の入れ方、切り方について説明します。コンピューターの電源の入れ方、切り方は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。


電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

1 本機の電源スイッチ（）をタッチして、電源を入れます。

本機の電源表示ランプが緑色に点灯します。

※「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。

 p.36 「設定メニューサブメニュー」

2 コンピューターの電源を入れます。

画面が表示されます。

※本機への入力信号が無い場合、画面は表示されず、電源表示ランプがオレンジ色に変わります。ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

 p.38 「困ったときは」

電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

1 コンピューターの電源を切ります。

画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。

2 本機の電源スイッチ（）をタッチして、電源を切ります。

本機の電源表示ランプが消灯します。

※電源連動機能を設定している場合は、コンピューターで作業中のデータを必ず保存してから本機の電源スイッチをタッチして電源を切ってください。

電源スイッチのロック

電源ボタンロック機能をオンにすると、電源スイッチを3秒以上タッチしないと電源が切れないようにできます。


機能のオン/オフの切り替え方法は、次の2つです。


- 1 ボタンと ▼ ボタンを同時に3秒以上タッチする

機能をオンにするときは、「電源ボタンロック中」と表示されるまでタッチし続けます。

機能をオフにするときは、「電源ボタンロック解除」と表示されるまでタッチし続けます。

- 1 ボタンをタッチして、メインメニューの「設定メニュー」 - 「電源ボタンロック」を選択する

 p.26 「OSD メニューの起動と操作」

 p.36 「設定メニューサブメニュー」

電源連動機能 (HDMI 接続時)

本機は電源連動機能に対応しています。電源連動機能に対応しているコンピューターと接続すると、本機の電源スイッチで、コンピューターの電源をオン/オフできます。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られています。ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



参考

液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、5個以下です。これは、全ドットの0.00008%以下に相当します。

*「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。本機の場合は、6,220,800個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2に従って、副画素単位で計算しています。

省電力機能について

本機の電源が入っていても、コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側が省電力状態になっていたりして本機への入力信号が無い場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になり、電力消費を抑えます。

コンピューター側の省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

本機の各動作状態におけるランプ表示は次のとおりです。

本機の状態	電源表示ランプ
画面表示	点灯(緑色)*
スタンバイ(入力信号なし)	点灯(オレンジ色)
電源オフ	消灯

*「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。



p.36「設定メニューサブメニュー」

表示する

本機とコンピューターを接続するだけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、すぐに表示することができます。

解像度を変更する

本機の最大解像度は、1920 × 1080 です。
解像度の変更は、接続するコンピューターの画面設定で行うことができます。
変更方法は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

自動画面調整(アナログ接続時)

自動画面調整とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。
接続するコンピューターを変更した場合などに行ってください。
この操作は、アナログ接続時のみ必要です。

自動画面調整では、次の項目を調整しています。

- ・クロック ・フェーズ ・水平位置 ・垂直位置

調整時の確認事項

調整は次の状態で行ってください。

- ・本機の電源投入時から 30 分以上経過（動作が安定）後
- ・Windows デスクトップ画面などを表示した状態



制限

デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されないことがあります。黒色以外の背景を使用して調整を行ってください。

自動画面調整を行う

自動画面調整は、OSD メニューの「自動画面調整」で行います。


p.26 「OSD メニューの起動と操作」


p.28 「メインメニュー」 - 「自動画面調整」

ブルーライト調整機能を使用する

ブルーライト調整機能を有効にすると、「ブルーライト」を抑えた表示ができます。ブルーライト調整機能の切り替え方法は、次のとおりです。

- 1 ボタンをタッチして、メインメニューの「ブルーライト調整」を選択します。
- 2 ▼、▲ ボタンで1、または2を選択します。

 p.26 「OSD メニューの起動と操作」

 p.28 「メインメニュー」 - 「ブルーライト調整」

※ ブルーライト調整機能を有効にした場合、次の項目は無効になります。


- ピクチャー調整
- カラー調整

複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する

アナログ出力、HDMI 出力、デジタル出力の各コンピューターを本機に3台同時に接続（マルチ入力）して、それぞれの画面に切り替えて表示することができます。


画面の切り替えは、OSD メニューの「入力選択」画面で行います。

OSD メニューの操作方法は次をご覧ください。

 p.26 「OSD メニューの起動と操作」

「入力選択」画面の表示方法は、次の2つです。

- 2 ボタンをタッチする
- 1 ボタンをタッチして、メインメニューから「入力選択」を選択する


 p.32 「入力選択サブメニュー」


エコモードを使用する

エコモードをオンにすると、画面の輝度が50（最大設定値の半分）に設定され、電力消費を抑えたモードで本機を使用することができます。

エコモードのオン/オフ切り替え方法は、次の2つです。

- 1 ボタンと2 ボタンを同時に2秒以上タッチする
タッチする度にオン/オフが切り替わります。
- 1 ボタンをタッチして、メインメニューの「ピクチャー調整」 - 「エコモード」を選択する


 p.26 「OSD メニューの起動と操作」

 p.31 「ピクチャー調整サブメニュー」

※ エコモードをオンにした場合、輝度の調整（値の変更）はできません。

音声を出力する

コンピューターや AV 機器からの音声を、本機のスピーカーから出力することができます。

 p.15 「コンピューターと接続する」の **6**

音量を調節する

本機の音量調整や消音設定方法は、次のとおりです。

- ▼ または ▲ ボタンのどちらかをタッチする
音量調整画面が表示されます。



<オーディオ調整画面>


「音量」項目が選択されている状態で 2 ボタンをタッチして決定


音量を大きくする：▲ ボタンをタッチする

音量を小さくする：▼ ボタンをタッチする

音量調整画面を終了するには、調節後そのまま放置するか、1 ボタンをタッチします。

- ▼ ボタンと ▲ ボタンを同時にタッチする
ミュート（消音）アイコン、または消音解除アイコンが表示されます。
タッチする度にミュート（消音）の設定と解除が切り替わります。
- 1 ボタンをタッチして、メインメニューから「オーディオ調整」を選択する

 p.26 「OSD メニューの起動と操作」

 p.33 「オーディオ調整サブメニュー」

タッチパネルを使う

本機とコンピューターを USB 接続すると、タッチ操作をすることができます。ここでは、タッチパネルの使用上の注意や、操作方法を説明します。接続するコンピューターのマニュアルも合わせてご覧ください。

タッチパネル使用上の注意




タッチパネルは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- 爪や、手袋を着用した指では、タッチパネルは操作できません。
- タップしたときにほかの場所が選択されたり、タップしても選択ができないような場合は、別の指や手の一部などがタッチパネルに触れていないか、確認してください。
- 使用するアプリによって、タッチパネル機能が使用できないことがあります。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、取り扱いには十分ご注意ください。タッチパネルが割れた場合、ガラスの破片が飛び散ることがあります。
 - 高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
 - 強くたたいたり、押したり、ボールペンなどの硬いもので触れたり、鋭利なもので傷をつけたりしないでください。傷が原因でガラスが割れることがあります。
- 製品の構造上、タッチパネル表面の温度が上がることがありますが、故障ではありません。

タッチパネルの操作方法


タッチパネルの操作方法は、次のとおりです。

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ	 <p>1 回軽くタッチ</p>	クリック	<ul style="list-style-type: none">● スタート画面でタイルからアプリを起動する● 文字の入力位置を指定する● メニューの項目を選択する

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
ダブル タップ	 <p>2 回軽くタッチ</p>	ダブル クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● デスクトップでアイコンからアプリを起動する
タップ アンド ホールド	 <p>画面をタッチし 続ける</p>	右クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● デスクトップで右クリックメニューを表示する
ドラッグ	 <p>タッチしたまま 動かす</p>	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> ● タイルやアイコンを移動する ● テキストの範囲を選択する ● アプリを終了する
スワイプ	 <p>画面上をスッと 払うように指を 動かす</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● アクションセンターを表示する ● [閉じる] を表示する
ズーム	 <p>2 本指で画面 をつまみ（ピン チ）、開いたり 閉じたりする</p>	[Ctrl] + スクロール ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面を拡大する / 画面を縮小する
回転	 <p>2 本指でタッチ して回す</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● オブジェクトを回転する

OSD メニューで調整する

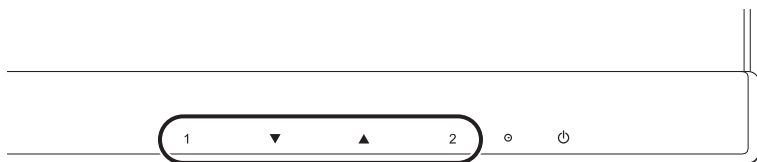
画面表示位置や明るさの調整など、画面に関する設定は、OSD メニューで行います。

調整項目の詳細は、 p.28 「メニュー画面の詳細」をご覧ください。

OSDメニューの起動と操作

起動や操作には、本機右下側にある次の4つのタッチセンサーボタンを使用します。

・ 1 ボタン ・ ▼ ボタン ・ ▲ ボタン ・ 2 ボタン



OSD メニューの起動方法と基本的な操作方法は次のとおりです。

- OSD メニューの表示（起動）

1 ボタンをタッチするとメインメニューが表示されます。

- メニュー画面の操作

▼、▲ ボタンで項目を移動し、2 ボタンで選択（決定）します。



メインメニューの項目を選択（決定）すると、調整が実行されたり、サブメニューが表示されたりします。

●機能のオン / オフの操作

- ▼、▲ボタンで項目を移動し、2 ボタンで選択（決定）します。
2 ボタンをタッチする度にオン / オフが切り替わります。
□にチェックが付いていると、機能はオンの状態です。

●調整項目の操作

サブメニューに調整項目がある場合の操作は、次の手順で行います。

- 1 ▼、▲ ボタンで項目を移動し、2 ボタンで選択（決定）します。
- 2 ▼、▲ ボタンで値を調整し、1 ボタンで調整を終了します。



<ピクチャー調整サブメニュー画面>

●OSD メニューの終了

終了方法は、次の2 つです。

- 1 ボタンをタッチする
(サブメニューの場合はメインメニューに戻ります。)
- そのまま放置 (初期値は 15 秒)

OSD メニューのロック

OSD メニューの設定を変更されたくない場合は、メニュー表示をロックすることができます。

購入時、メニュー表示はロックされていません。

OSD メニューのロックとロック解除は、次のボタン操作で行います。

● 1 ボタンと ▲ ボタンを同時に 5 秒以上タッチする

ロックするときは、「OSD ボタンロック」と表示されるまでタッチし続けます。

ロックを解除するときは、「OSD ボタンロック解除」と表示されるまでタッチし続けます。









メニュー画面の詳細

OSD メニューで表示される各メニューの項目を説明します。

メインメニュー



メインメニューでは、次の項目を選択できます。

項目	内容
自動画面調整	アナログ接続時にクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に最適な状態に調整します。  p.21 「自動画面調整（アナログ接続時）」 ※アナログ接続時のみ、選択可能です。
ブルーライト調整	サブメニューを表示し、ブルーライトを低く調整する設定を行います。  p.30 「ブルーライト調整サブメニュー」 ※「カラー調整」の「i - Style Color」が「オフ」の時のみ設定可能です。
ピクチャー調整	サブメニューを表示し、コントラストや輝度の調整、エコモードの設定を行います。  p.31 「ピクチャー調整サブメニュー」 ※ 次の場合のみ設定可能です。 ・「ブルーライト調整」が「オフ」のとき ・「カラー調整」の「i - Style Color」が「オフ」のとき
入力選択	サブメニューを表示し、入力画面の設定を行います。  p.32 「入力選択サブメニュー」
オーディオ調整	サブメニューを表示し、音量に関する調整を行います。  p.33 「オーディオ調整サブメニュー」
カラー調整	サブメニューを表示し、色合いに関する調整を行います。  p.34 「カラー調整サブメニュー」 ※「ブルーライト調整」が「オフ」の時のみ設定可能です。
インフォメーション	サブメニューに本機の情報を表示します。 表示される情報は次のとおりです。 ・解像度 ・水平周波数 ・垂直周波数 ・ドットクロック ・Preset（アナログ接続時のみ表示） ・モデル番号 ・入力
マニュアル画像調整	サブメニューを表示し、画面に関する調整を行います。  p.35 「マニュアル画像調整サブメニュー」
設定メニュー	サブメニューを表示し、OSD メニューの表示に関する調整を行います。  p.36 「設定メニューサブメニュー」
メモリーリコール	OSD メニューの設定を初期値に戻します。

ブルーライト調整サブメニュー



ブルーライト調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

項目	内容	低減度
オフ (初期値)	ブルーライトの調整を行いません。	—
1	ブルーライトを低減します。	低
2		高


ピクチャー調整サブメニュー



ピクチャー調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

※ 次の場合のみ設定可能です。

- 「ブルーライト調整」が「オフ」のとき
- 「カラー調整」の「i - Style Color」が「オフ」のとき

項目	内容
コントラスト	画面のコントラスト（明暗比）を調整します。
輝度	画面の輝度（明るさ）を調整します。 ※ 「エコモード」が「オフ」の時のみ設定可能です。
オーバードライブ	動画再生時の残像感を低減します。 初期値はオフです。
エコモード	画面の輝度を 50（最大設定値の半分）に設定します。 初期値はオフです。 エコモードのオン / オフは、簡単なボタン操作で行うこともできます。  p.22 「エコモードを使用する」


入力選択サブメニュー



入力選択サブメニューでは、次の項目を設定できます。

項目	内容
VGA	VGA ケーブルで接続したコンピューターの画面（アナログ）を表示します。
DVI	DVI-D ケーブルで接続したコンピューターの画面（デジタル）を表示します。
HDMI	HDMI ケーブルで接続したコンピューターの画面（デジタル）を表示し、音声も出力します。
Auto (初期値)	接続したコンピューターの画面を自動的に表示します。



「入力選択」画面は、簡単なボタン操作で表示することもできます。

 p.22 「複数のコンピューターの画面を切り替えて表示する」

オーディオ調整サブメニュー



オーディオ調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

項目	内容
音量	本機から出力される音声の音量を調整します。 音量調整画面は、簡単なボタン操作で表示することもできます。  p.23 「音量を調節する」
ミュート	本機の音声出力をミュート（消音）に設定、または消音設定を解除します。 ミュート（消音）の設定と解除は、簡単なボタン操作で行うこともできます。  p.23 「音量を調節する」
HDMI Audio	HDMI と Line - In のどちらから音声入力するかを設定します。

カラー調整サブメニュー



カラー調整サブメニューでは、色調を次の項目から選択できます。

※「ブルーライト調整」が「オフ」の時のみ設定可能です。

項目	内容
クール	画面表示を昼光色より青みがかった色調にします。
ノーマル	画面表示を標準的な色調にします。
ウォーム	画面表示を昼光色に近い自然な色調にします。
ユーザーカラー設定 (初期値)	赤、緑、青の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。
i - Style Color	画面の内容にあわせて、色合いや輝度、コントラストを設定したモードを選択できます。 ・ オフ・ゲーム・映画・風景・テキスト 初期値はオフです。オフ設定時のみ、ピクチャー調整を OSD メニューで変更することができます。

マニュアル画像調整サブメニュー




マニュアル画像調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

項目	内容
水平 / 垂直位置	水平位置：表示画面を左右に移動して調整します。 垂直位置：表示画面を上下に移動して調整します。 ※アナログ接続時のみ、選択可能です。
クロック	表示画面に縦縞状のノイズが入っている場合に調整します。 ※アナログ接続時のみ、選択可能です。
フェーズ	画面のにじみや、ちらつきがある場合に調整します。 ※アナログ接続時のみ、選択可能です。
シャープネス	シャープネス（輪郭強調）を調整します。 ※解像度 1920 × 1080 で表示している場合は、選択できません。
画面モードの調整	表示する画面のモードを選択します。初期値はフルスクリーンです。 アスペクト比： 次の解像度で表示している場合に実行可能で、その解像度のアスペクト比（4：3または5：4）で表示します。 例）640 × 480、800 × 600、 1024 × 768、1280 × 1024 フルスクリーン：全画面に表示します。

設定メニューサブメニュー



設定メニューサブメニューでは、次の項目を設定できます。

項目	内容
言語選択	OSD メニューの表示言語を設定します。 「日本語」または「English」を選択します。 初期値は日本語です。
OSD 位置	OSD メニューの表示位置（水平位置と垂直位置）を調整します。
OSD 表示時間	OSD メニューを表示させる時間（秒）を次の 4 つの値から設定します。 5/15/30/60 初期値は 15（秒）です。
OSD 背景	OSD メニューを透過表示にします。 初期値はオフです。
Auto Power OFF	コンピューターの電源を切ったときに、自動的にディスプレイの電源を切ります。初期値はオフ（OFF）です。 OFF：ディスプレイの電源は切れません。 5分/30分/60分：コンピューターの電源を切ってから、ディスプレイの電源が切れるまでの時間を設定します。
LED OFF	電源表示ランプ（緑色）を消灯します。 初期値はオフ（LED ON）です。
電源ボタンロック	電源スイッチを 3 秒以上タッチしないと電源が切れないように設定します。 初期値はオフ（OFF）です。 電源ボタンロックの設定と解除は、簡単なボタン操作で行うこともできます。  p.19 「電源スイッチのロック」

お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



制限

- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

液晶パネル部分

液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。






通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。



困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。

下記の対処方法でも改善されない場合は、『別紙』『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

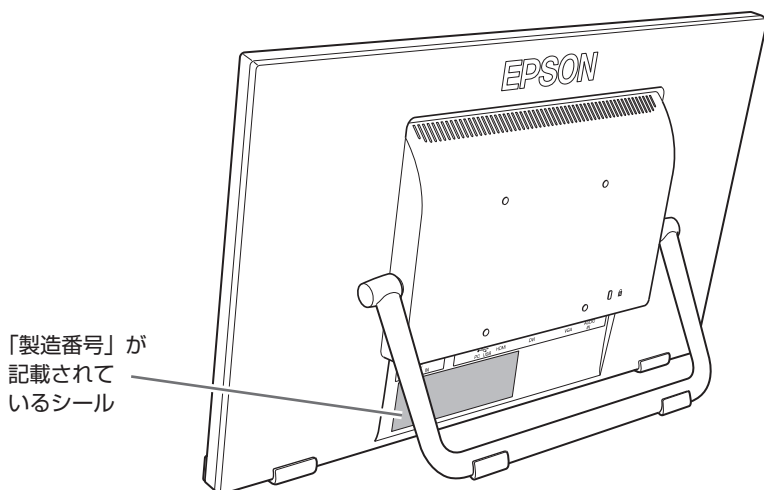
現象	確認と対処
画面になにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">● 本機の電源が入っている（電源表示ランプが点灯している）かどうか確認してください。 ※「LED OFF」に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。  p.36 「設定メニューサブメニュー」● 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合、コンピューターの電源が入っているか確認してください。 コンピューターの電源が入っている場合は、省電力状態の可能性があります。キーボードやマウスなどを操作してみてください。● 電源コード、ケーブルなどが、正しく接続されているか確認してください。 また、コンピューターと本機の電源を切ってから、ケーブルを接続しなおしてみてください。● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.41 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● OSDメニューの「入力選択」で、設定が「Auto」になっているか確認してください。  p.32 「入力選択サブメニュー」
画面がちらついたり、乱れたりする。	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。  p.41 「プリセットタイミング（アナログ接続時）」● 本機をアナログで使用している場合は、自動画面調整を行ってください。  p.21 「自動画面調整（アナログ接続時）」● お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、 p.38 「困ったときは」をよくお読みください。また、お使いのコンピューターのマニュアルもご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、別紙『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください、修理受付窓口へ修理をご依頼ください。

製造番号の確認

ご連絡いただく前に、本機背面に貼付のシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。お問い合わせや修理受付の際に必要となります。シールの位置は、下記のとおりです。



機能仕様一覧

型番	LT22W81L	
サイズ	21.5 型 (可視域対角 約 55.0cm)	
パネル方式	カラー TFT	
画素ピッチ	0.248mm × 0.248mm	
最大解像度	フルHD : 1920 × 1080	
最大表示色	約 1677 万色	
同期周波数	水平 : 30 ~ 82kHz / 垂直 : 55 ~ 76Hz	
最大輝度	250cd/m ²	
コントラスト比	1000 : 1	
応答速度	約 14ms	
視野角	水平 : 178° / 垂直 : 178°	
表示画面サイズ (横×縦)	約 477mm × 約 268mm	
調整機能	アナログ	自動画面調整、ブルーライト調整、ピクチャー調整 (コントラスト、輝度、オーバードライブ、エコモード)、入力選択 (VGA、DVI、HDMI、Auto)、オーディオ調整 (音量、ミュート)、カラー調整 (クール、ノーマル、ウォーム、ユーザーカラー設定、i - Style Color)、インフォメーション、マニュアル画像調整 (水平 / 垂直位置、クロック、フェーズ、シャープネス、画面モードの調整)、設定メニュー (言語選択、OSD 位置、OSD 表示時間、OSD 背景、Auto Power OFF、LED OFF、電源ボタンロック)、メモリーリコール
	デジタル	ブルーライト調整、ピクチャー調整 (コントラスト、輝度、オーバードライブ、エコモード)、入力選択 (VGA、DVI、HDMI、Auto)、オーディオ調整 (音量、ミュート、HDMI Audio)、カラー調整 (クール、ノーマル、ウォーム、ユーザーカラー設定、i - Style Color)、インフォメーション、マニュアル画像調整 (シャープネス、画面モードの調整)、設定メニュー (言語選択、OSD 位置、OSD 表示時間、OSD 背景、Auto Power OFF、LED OFF、電源ボタンロック)、メモリーリコール
入力信号	アナログ	アナログ RGB (同期 : セパレート)
	デジタル / HDMI	デジタル・HDMI TMDS (DVI 1.0 準拠)
入力端子	アナログ	ミニ D-sub 15 ピン
	デジタル	DVI-D 24 ピン (HDCP 対応)
	HDMI	HDMI 19 ピン (HDCP 対応)
音声入力コネクター	ステレオミニジャック	
スピーカー	2.0W + 2.0W	
タッチパネル	静電式、10 点マルチタッチ対応 USB 接続	
入力電源	AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力	29W (最大定格)	
温湿度条件	温度 : 10 ~ 35℃ 湿度 : 20 ~ 80% (結露しないこと)	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	491mm × 117mm × 294mm (15 度で設置時) 491mm × 241mm × 207mm (50 度で設置時)	
本体質量	約 3.6kg	
ブラグアンドプレイ	VESA DDC/CI	
パワーセーブ	VESA DPMS/DVI DMPM 準拠	
電源連動機能	対応	

プリセットタイミング(アナログ接続時)

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録（プリセット）されています。

制限

- お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「入力信号仕様範囲外」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 480	31.4	59.9
	37.8	72.8
	37.5	75.0
720 × 400	31.4	70.0
800 × 600	37.8	60.3
	48.0	72.1
	46.8	75.0
1024 × 768	48.3	60.0
	56.4	70.0
	60.0	75.0
1152 × 864	67.5	75.0
1280 × 720	45.0	60.0
	44.7	59.8
1280 × 768	47.3	59.9
	47.7	59.8
	60.2	74.8
1280 × 1024	63.9	60.0
	79.9	75.0
1360 × 768	47.7	60.0
1366 × 768	47.7	59.7
1400 × 1050	65.3	59.9

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1440 × 900	55.4	59.9
	55.9	59.8
	70.6	74.9
1680 × 1050	64.6	59.8
	65.2	59.9
1920 × 1080	67.5	60.0
	66.5	59.9

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

有寿命部品について

液晶ディスプレイには有寿命部品が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

UPS 対応について

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきまして、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/